

兵庫県立歴史博物館紀要



第 34 号

姫路藩士・下田桂屋と文人画家・浦上春琴 —『桂屋遺稿』にみる文雅の交わり—	山口奈々絵 1
【資料紹介】明治期の広告契約に関する文書	吉原 大志 11
【資料紹介】「城郭巡視日記」(二)	竹内 信 19
【報告】改修工事期間中における博物館資料の保存環境について	山口奈々絵 吉原 大志 30(39)
【活動報告】2021 年度れきはく連続講座 「野里界限まち歩き講座」の実施について	鈴木 敬二 38(31)
【活動報告】博物館における展示情報の提供と博学連携 —“ひょうご五国”歴史文化キャラバン 赤穂会場の取り組みを事例に—	竹内 信 前田 和彦 48(21)
【展覧会記録】巡回展「“ひょうご五国”歴史文化キャラバン」について	香川 雅信 50(19)
大坂仏師「宮内法橋」と 神出仏師「厚木民部・保省」の作例、修理例表の修正	神戸 佳文 68(1)

2023(令和5)年3月

兵庫県立歴史博物館

大坂仏師「宮内法橋」と 神出仏師「厚木民部・保省」の作例・修理例表の修正

神 戸 佳 文

はじめに

『兵庫県立歴史博物館紀要塵界』で、二度紹介した「宮内法橋」^(註1)と、一度紹介した「神出仏師」^(註2)の作例・修理例は、その後の調査の進展や研究者、研究機関からの情報等により資料数が増えている。令和4年度末で再任用期間が終了となるのにあたり、現段階の状況を記して、今後の基礎となるようにしたい。

1 大坂仏師「宮内法橋」

『塵界』7号で78件、同19号で226件であった作例・修理例は、その後も増加し、現在276件となっている。とくに初代の作例が確認されることが多くなり、同19号で20件余りであったが30件を越えた。

現時点で初代の最初の作例と推定していた香川県東かがわ市常観寺の弘法大師坐像は、調査により「寛永拾四年/摂津国大坂住/宮内卿作/ウシ十月吉日」の銘文が確認でき、寛永14年(1633)10月の造立であることが確認された。

そして、宝塚市中山寺山門の金剛力士立像の修理時に、像内から仏師「大坂住宮内卿」の納入札が発見され、法橋叙任以前の作で、その2年後には「宮内法橋」と記していることから、中山寺金剛力士立像の制作を契機に法橋に任ぜられたと考えられること、同寺五百羅漢堂の十六羅漢像の銘文に初代の年令が記されていたこと、「宮内卿」以外に「大納言」という書き入れをしていたことなどが判明した^(註3)。

二代宮内法橋では、造仏と代金支払いに関する書状が南あわじ市寶光寺から発見され、その書状に記された十二神将立像(12軀)の制作状況を考察した^(註4)。

2 神出仏師「厚木民部・厚木保省」

『塵界』21号で、29件であった作例・修理例は35件となっている。多可町の仏像調査、三木市史

作成にかかる調査、小野市立好古館による小野市内の悉皆調査により確認されたもので、今後も未調査の寺社から確認されることが期待される。

平成29年4月22日から6月4日に兵庫県立歴史博物館で、特別展「ひょうごの美ほとけ―五国を照らす仏像―」を開催した。同展では、宝塚市中山寺蔵、初代宮内法橋作十六羅漢像の内の二軀「伐闍羅弗多羅尊者坐像」「阿氏多尊者倚像」。洲本市五色町明法寺蔵、二代宮内法橋作「金剛界大日如来坐像」と「弁才天十六童子像」。南あわじ市寶光寺蔵の「二代宮内法橋造仏関係文書」4通を展示させていただいた。また、神戸市西区性海寺蔵、厚木民部作「不動明王立像」と多可町加美区西光寺蔵、厚木保省作「不動明王立像」も展示させていただくことができ、初代・二代宮内法橋と厚木民部、保省父子の調査成果の一端を紹介した。これらの成果を加えた作例・修理例の一覧と年表を掲載する。

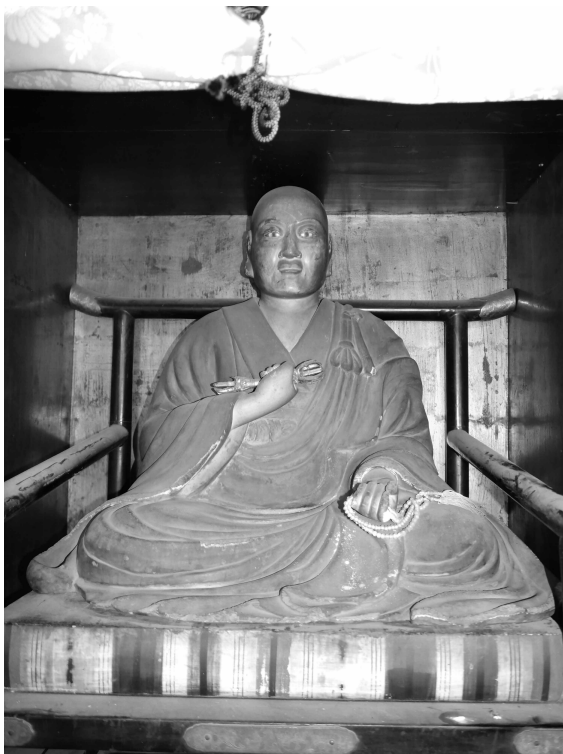
表Ⅰ「宮内法橋の作例・修理例」

表Ⅱ「宮内法橋造仏年表」

表Ⅲ「神出仏師作例・修理例年表」

【註】

- 1 神戸佳文「大坂仏師「宮内法橋」江戸前半期の二代にわたる仏師」『兵庫県立歴史博物館紀要塵界』第7号 平成6年3月、神戸佳文「大坂仏師 宮内法橋―その作風と銘文―」『塵界』19号 平成20年2月
- 2 神戸佳文「神出仏師 厚木民部・厚木保省―江戸時代前期の東播磨の親子仏師」『塵界』第21号 平成22年3月
- 3 神戸佳文「中山寺における大坂仏師「宮内法橋」の造仏―初代宮内法橋の新知見―」『中山寺の歴史と文化財』平成25年10月 大本山中山寺
- 4 神戸佳文「南あわじ市寶光寺の十二神将立像の造仏について―仏師「宮内法橋」の書状からみる―」『塵界』第29号 平成30年3月



弘法大師坐像（東かがわ市常観寺）表Ⅰ－1



虚空蔵菩薩坐像（洲本市宝林寺）表Ⅰ－187



弘法大師像内背部墨書銘



虚空蔵菩薩像内背部墨書銘

寛永拾四年
(別筆 墨消し)
撰津国大坂住
宮内卿作
ウシ
十月吉日

正徳五乙未年
正月吉日
虚空蔵菩薩御尊像
大佛師
法橋宮内作

○初代宮内法橋の現存最初の作例と考えられる。

○2代宮内法橋の晩年の作、虚空蔵は作例が少ない。

表I

宮内法橋の作例・修理例

〔令和5年(2023)1月15日現在〕

兵庫県(淡)は淡路市、同(洲)洲本市、同(南)は南あわじ市を表す。「△」は未見、未調査の資料

No.	寺院名	所在地	旧国名	像名	内容	像高(cm)	造立・修理年代
1	常観寺	香川県東かがわ市	讃岐	弘法大師坐像(宮内卿)	造立	46.7	寛永14年(1637)10月
2	中山寺仁王門	兵庫県宝塚市	摂津	金剛力士立像(宮内卿)	造立	280.0(阿)/278.0(吽)	正保5年(1648)2月
3	宝林寺	兵庫県上郡町	播磨	赤松則祐坐像	修理	82.5	慶安3年(1650)7月
4	十輪寺	和歌山県みなべ町	紀伊	聖観音坐像	造立	29.5	万治2年(1659)3月△
5	本護寺	大分県国東市	豊後	宝冠釈迦如来坐像	〃	32.5	寛文3年(1663)9月△
6	正法寺	兵庫県三木市	播磨	弘法大師坐像	造立	58.7	寛文4年(1664)6月
7	無量寿院	兵庫県播磨町	播磨	阿弥陀如来及び両脇侍像	修理	78.6 48.1 49.6	寛文4年(1664)9月
8	末吉家(杭全神社神宮寺)	大阪府平野区	摂津	紅顔梨阿弥陀如来坐像	造立	35.1	寛文4年(1664)12月△
9	お堂	長崎県壱岐市	壱岐	像名不詳	造立		寛文5年(1665)8月
10	栄福寺	兵庫県(南)三原町	淡路	弘法大師坐像	造立	37.3	寛文5年(1665)10月
11	中山寺大師堂	兵庫県宝塚市	摂津	弘法大師坐像	造立	53.5	寛文6年(1666)12月
12	万勝寺	兵庫県(南)南淡町	淡路	阿弥陀如来立像	修理		寛文8年(1668)か(申年)
13	竜峰院	長崎県壱岐市	壱岐	地藏菩薩坐像	造立	28.0	寛文9年(1669)2月△
14	法幢寺	兵庫県多可町中区	播磨	義雲紹真坐像	〃	69.0	寛文9年(1669)3月
15	大宮寺	兵庫県(南)緑町	淡路	弘法大師坐像	〃	51.5	〃 6月
16-1	中山寺五百羅漢堂	兵庫県宝塚市	摂津	宝冠釈迦如来坐像	〃	106.7	寛文9(か)年
16-2	中山寺五百羅漢堂 (十六羅漢像)	〃	〃	寶度羅跋羅墮闇尊者坐像(1)	〃	43.5	寛文9年(1669)7月
				迦理迦尊者倚像(7)		42.0	寛文9年(1669)7月
				伐闍羅弗多羅尊者坐像(8)		42.7	寛文9年(1669)7月
				羅喉羅尊者坐像(11)		41.3	寛文9年(1669)7月
				伐那婆斯尊者坐像(14)		42.5	寛文9年(1669)7月
				跋陀羅尊者坐像(6)		43.2	寛文10年(1670)3月
				注荼半託迦尊者倚像(16)		42.0	寛文10年(1670)3月
				諾矩羅尊者倚像(5)		42.3	寛文10年(1670)4月
				因揭陀尊者倚像(13)		42.0	寛文10年(1670)4月
				迦諾跋釐墮闇尊者倚像(3)		42.5	寛文10年(1670)5月
				那伽犀那尊者倚像(12)		41.8	寛文10年(1670)5月
				迦諾迦伐蹉尊者半跏像(2)		41.7	寛文10年(1670)7月
				蘇賓陀尊者倚像(4)		43.5	寛文10年(1670)7月
				戌博迦尊者倚像(9)		41.7	寛文10年(1670)7月
				半託迦尊者倚像(10)		41.5	寛文10年(1670)7月
				阿氏多尊者倚像(15)		41.5	寛文10年(1670)7月
17	延長寺	兵庫県(洲)五色町	〃	胎藏界大日如来坐像	〃	52.8	寛文10年(1670)7月
18	龍雲寺	〃	〃	弘法大師坐像	〃	40.6	〃 12月
19	西泉寺	〃	〃	弘法大師坐像	〃	34.3	寛文11年(1671)4月
20	大宮寺	兵庫県(南)緑町	〃	弘法大師坐像	〃	51.1	〃 9月
21	感応寺観音堂	兵庫県(南)西淡町	〃	弘法大師坐像	〃	44.7	寛文12年(1672)9月
22	威光寺	兵庫県(南)三原町	〃	弘法大師坐像	〃	40	寛文13年(1673)2月△
23	大露大師講	兵庫県(洲)五色町	〃	弘法大師坐像	〃	20	〃 3月△
24	明法寺	〃	〃	阿弥陀如来立像	修理	38.6	延宝元年(〃)11月
25	正法寺	広島県福山市	備後	釈迦如来坐像	造立	46	延宝2年(1674)1月△
26	高野山宝珠院	和歌山県高野町	紀伊	宥快僧都像	〃		〃 3月△
27	観音寺	兵庫県(南)緑町	淡路	弘法大師坐像	〃	40.8	〃 9月
28	観音寺	兵庫県洲本市池内	〃	金剛界大日如来坐像	〃	54	延宝3年(1675)11月か△
29	持明寺	兵庫県(洲)五色町	〃	弘法大師坐像	〃	45.4	延宝4年(1676)5月
30	正法寺	広島県福山市	備後	達磨大師坐像(黄檗様式)	〃	48	〃 9月△
31	妙観寺	兵庫県(南)南淡町	淡路	阿弥陀如来立像	修理	42.0	延宝5年(1677)7月△
32	万歳薬師堂	兵庫県(洲)五色町	〃	薬師如来坐像及両脇侍立像3軀	造立	35.5, 35.8, 36.0	〃 9月
33	持明寺(護摩堂)	〃	〃	不動明王立像及両脇侍立像3軀	〃	55.0	延宝6年(1678)2月

34	安国寺	広島県福山市	備後	達磨大師坐像（黄檗様式）	〃	45	〃	5月△
35	感応寺	兵庫県(南)西淡町	淡路	金剛界大日如来坐像	〃	28.8	〃	6月
36	清浄寺	兵庫県(南)三原町	〃	弘法大師坐像	〃	42.0	〃	11月
37	西泉寺	兵庫県(洲)五色町	〃	金剛界大日如来坐像	〃	52☆	延宝7年(1679)	2月
38	山向寺	和歌山県日高川町	紀伊	阿弥陀如来坐像	〃	45	〃	4月△
39	明法寺	兵庫県(洲)五色町	淡路	金剛界大日如来坐像	〃	32.4	〃	8月
40	菅相寺	〃	〃	弘法大師坐像	〃	44.0	〃	11月
41	真観寺	兵庫県(南)南淡町	〃	弘法大師坐像	〃	31.5	〃	〃 △
42	神本寺薬師堂	兵庫県(南)三原町	〃	薬師三尊十二神将立像（定印）	〃	28	延宝8年(1680)	5月△
43	虚空蔵堂	兵庫県(洲)五色町	〃	虚空蔵菩薩坐像	〃	37.8	〃	11月
44	桑間薬師堂	兵庫県洲本市	〃	薬師如来坐像	修理	45.0	〃	
45	大徳院	東京都墨田区(河内叡福寺旧蔵)		薬師如来坐像両脇侍立像	修理	35.5 46.9日 46.8月	延宝9年(1681)	6月
46	立川瀬阿弥陀堂	兵庫県(南)南淡町	〃	弘法大師坐像	造立	33.0	天和2年(1682)	3月△
47	薬師寺	兵庫県西脇市黒田荘町	播磨	四臂十一面観音坐像	〃	15.2	〃	9月
48	末吉家(杭全神社神宮寺)	大阪市平野区	摂津	阿弥陀如来坐像	修理	36.1	〃	9月△
49	岩渕寺	兵庫県(南)三原町	淡路	弘法大師坐像	造立	40	天和3年(1683)	1月△
50	釈迦院	大阪府池田市	摂津	愛染明王坐像	〃	61.3	〃	8月
51	ヤフーオークション出品		不明	金剛界大日如来坐像	〃	約30	〃	〃
52	龍雲寺	兵庫県(洲)五色町	淡路	金剛界大日如来坐像	〃	29.0	〃	9月
53	極楽寺	〃	〃	弘法大師坐像	〃	40.9	〃	〃
54	東光寺	〃	〃	弘法大師坐像	〃	37.6	〃	11月
55	春日寺	兵庫県(南)西淡町	〃	弘法大師坐像	〃	44.3	天和4年(1684)	1月
56	江国寺	兵庫県洲本市	〃	釈迦如来坐像（黄檗様式）	〃	52.9	〃	2月
57	安覚寺	〃	〃	弘法大師坐像	〃	45.0	貞享元年(〃)	6月△
58	瑞宝院	兵庫県(南)南淡町	〃	千手観音立像	〃	64.0	〃	8月△
59	安住寺	兵庫県(南)緑町	〃	不動明王立像	〃	27.8	〃	(月不明)
60	安住寺	〃	〃	千手観音立像	修理	46.5	〃	(〃)
61	入田薬師堂	兵庫県(南)三原町	〃	薬師如来坐像	〃	55.5	貞享2年(1685)	2月
62	小川寺	兵庫県洲本市	〃	弘法大師坐像	造立	46.0		5月△
63	角川生福寺	兵庫県(洲)五色町角川	〃	薬師如来坐像	〃	32	〃	9月☆△
64	貴船神社	兵庫県(淡)一宮町竹谷	〃	村上大明神像	〃		〃	(月不明) △
65	角川地藏庵	〃	〃	地藏菩薩立像	〃	43.1	貞享3年(1686)	1月
	〃	〃	〃	不動明王立像・毘沙門天立像	〃	33.1・34.8	〃	〃
66	弁天島弁天堂	広島県福山市	備後	弁才天坐像	〃	24.8	〃	3月△
67	江国寺	兵庫県洲本市	淡路	迦葉・阿難立像(黄檗様式)	〃	49.9・49.0	〃	6月
68	八浄寺	兵庫県(淡)津名町	〃	不動明王立像	〃	(不明)	〃	9月△
69	金龍寺	兵庫県宝塚市	摂津	不動明王坐像	〃	56.0	〃	11月△
70	大通寺	兵庫県西脇市	播磨	聖観音坐像	〃	20.6	〃	12月
71	勝福寺	兵庫県(淡)東浦町	淡路	弘法大師坐像	〃	51.8	貞享4年(1687)	5月
72	鍛冶屋観音堂	兵庫県(南)南淡町	〃	弘法大師坐像	〃	51.0	〃	8月△
73	安楽寺	兵庫県猪名川町	摂津	金剛界大日如来坐像	〃	59.1	貞享5年(1688)	1月
74	常隆寺	兵庫県(淡)北淡町	淡路	弘法大師坐像	〃	21.1	〃	2月
75	宝林寺	兵庫県洲本市	〃	十一面観音立像	〃	56.1	〃	6月
76	長福寺	兵庫県(南)三原町	〃	弘法大師坐像	〃	42	〃	7月△
77	龍雲寺	兵庫県(洲)五色町	〃	薬師如来立像	〃	39.5	〃	8月
78	栄福寺	兵庫県(南)三原町	〃	金剛界大日如来坐像	〃	21.5	元禄元年(〃)	11月
79	明法寺	兵庫県(洲)五色町	〃	弁才天十五童子・大黒・毘沙門天像	〃	31.6他	元禄2年(1689)	5月
80	極楽寺	〃	〃	阿弥陀(無量寿)如来立像(後補)	〃	32.5	元禄3年(1690)	11月
81	庚申堂	和歌山県紀の川市	紀伊	二天立像	修理	各 111.5	元禄4年(1691)	5月△
82	神代寺	兵庫県(南)三原町	淡路	弘法大師坐像	造立	41.5	〃	9月△

83	高菰薬師堂	兵庫県(南)南淡町	//	薬師如来坐像	//	25.0	//	9月△
84	安住寺	兵庫県(南)緑町	//	胎蔵界大日如来坐像	//	41.6	元禄5年(1692)	1月
85	角川地藏庵	兵庫県(洲)五色町	//	金剛界大日如来坐像	//	25.1	//	5月
86	角川観音寺	//	//	金剛界大日如来坐像	//	36	//	9月☆△
87	白山上薬師堂	兵庫県(淡)東浦町	┌	薬師如来坐像	修理	35.1	//	11月
//	//	//		日光・月光菩薩立像	造立	各25.0	//	//
88	瑞宝院	兵庫県(南)南淡町	//	閻魔・十王(6軀)像	//	30.0・23.5	元禄6年(1693)	1月△
89	瑞宝院	//	//	弘法大師坐像	//	36.0	//	2月△
91	広石北観音堂	兵庫県(洲)五色町	┌	如意輪観音坐像	//	51.2	//	3月
//	//	//		不動明王立像・毘沙門天立像	//	46.0・47.9	//	//
92	勝福寺	兵庫県(淡)東浦町	//	虚空蔵菩薩坐像	//	25.0	//	11月
93	永徳寺観音院	広島県広島市	安芸	金剛界大日如来坐像	//	(不明)	元禄6年(1693)	月不詳
94	松林寺	大阪府河内長野市	河内	弘法大師坐像	//	(不明)	//	//
95	中山寺	兵庫県宝塚市	摂津	阿弥陀如来坐像 台座・光背	修理		元禄7年(1694)	5月
96	虚空蔵庵	兵庫県(淡)一宮町	淡路	金剛界大日如来坐像	造立	62.0	//	9月
97	妙観寺	兵庫県(南)南淡町	//	閻魔王坐像	//	37.0	//	10月△
//	//	//	//	奪衣婆像	//	27.5	//	11月△
98	願海寺	兵庫県(南)西淡町	//	金剛界大日如来坐像	//	24.5	元禄8年(1695)	3月
99	大日大日堂	兵庫県(洲)五色町	//	阿弥陀如来立像	//	39.4	//	5月
100	鮎原西毘沙門堂	//	//	金剛界大日如来坐像	//	(現高17.8髻欠)	//	7月
101	延命寺	兵庫県(南)三原町	//	弘法大師坐像	//	44	//	// △
102	普門寺	兵庫県(洲)五色町	//	金剛界大日如来坐像	//	53.9	//	8月
103	覚王寺	兵庫県(淡)津名町	//	愛染明王坐像	//	40.5	//	9月
104	江国寺	兵庫県洲本市	//	文殊菩薩半跏像(黄檗様式)	//	38.7	//	11月
105	久安寺	大阪府池田市	摂津	弁才天坐像	修理	(不明)	//	// △
106	角川地藏庵	兵庫県(洲)五色町	淡路	弘法大師坐像	造立	46.3	元禄9年(1696)	5月
107	虚空蔵庵	兵庫県(淡)一宮町	//	如意輪観音坐像	修理	42.7	//	//
108	虚空蔵庵	//	//	弘法大師坐像	造立	42.5	//	7月
109	妙観寺	兵庫県(南)南淡町	//	十王像9軀(閻魔を除く)	//	27.0	//	// △
110	岩渚寺	兵庫県(南)三原町	//	胎蔵界大日如来坐像	//	41	//	9月△
111	真観寺	兵庫県(南)南淡町	//	金剛界大日如来坐像	//	38.0	//	12月△
112	安住寺	兵庫県(南)緑町	//	薬師如来坐像	修理	45.7	元禄10年(1697)	1月
113	大宮寺	//	//	金剛界大日如来坐像	造立	37.7	//	2月
114	上堺釈迦堂	兵庫県(洲)五色町	//	弘法大師坐像	//	38.9	//	//
115	久安寺	大阪府池田市	摂津	増長天・広目天立像	修理	114.0 他	//	// △
116	威光寺	兵庫県(南)三原町	淡路	胎蔵界大日如来坐像	造立	48.0	//	5月△
117	威光寺	//	//	阿弥陀如来坐像(来迎印)	//	52.0	//	// △
118	金輪寺	香川県丸亀市手島	讃岐	薬師如来坐像	修理	78	//	6月
		//	//	持国天立像	//	152.3	//	//
		//	//	多聞天立像	//	144.3	//	//
119	曼荼羅寺	香川県善通寺市	//	八幡神坐坐像(束帯形)	造立	31.5	//	8月
120	本福寺	兵庫県(淡)東浦町	淡路	虚空蔵菩薩坐像	造立	25.0	//	(月不明)
121	長林寺	兵庫県(洲)五色町	//	金剛界大日如来坐像	//	62.8	元禄11年(1698)	7月
//	//	//	//	不動明王坐像	//	29.0	//	//
//	//	//	//	愛染明王坐像(嘉兵衛10両寄進包)	//	36.6	//	//
122	松林庵	大阪府堺市	和泉	弘法大師坐像	//	43.0	//	11月△
123	福満寺(一宮)	兵庫県(淡)一宮町	淡路	弘法大師坐像	//	41.3	元禄12年(1699)	1月
124	淡路国分寺	兵庫県(南)三原町	//	虚空蔵菩薩立像	//	30.9	//	3月
125	広石北観音堂	兵庫県(洲)五色町	//	薬師如来立像	//	44.9	//	//
126	塔下大御堂	//	//	阿弥陀如来坐像	修理	81	//	// ☆△

127	賢光寺庚申堂	兵庫県(南)三原町	//	青面金剛立像	造立	43.5	//	4月
128	塔下大御堂	兵庫県(洲)五色町	//	不動明王立像・毘沙門天立像	修理	80・87	//	5月☆△
129	広石下大日庵	//	//	金剛界大日如来坐像	造立	39	//	// ☆△
130	金剛寺	兵庫県(南)三原町	//	弘法大師坐像	造立	49	//	7月 △
131	安楽寺	//	//	十一面観音立像	//	75	//	8月 △
132	安楽寺	//	//	愛染明王の厨子			//	// △
133	菅相寺	兵庫県(洲)五色町	//	阿弥陀如来坐像	造立	18.4	//	9月
134	光明寺	兵庫県(南)南淡町	//	阿弥陀如来立像	修理	64.8	元禄13年(1700)	5月
	//	//	//	観音・勢至菩薩立像	造立	40.7・40.8	//	//
135	慈音寺	兵庫県(南)三原町	//	金剛界大日如来坐像	造立	40	//	7月 △
136	薬王寺	兵庫県(洲)五色町	//	薬師如来坐像	修理	19.5	//	//
137	妙雲寺	兵庫県(南)西淡町	//	弘法大師坐像	造立	45.4	//	8月
138	堺寺	兵庫県(洲)五色町	//	千手観音立像	//	113.5	元禄14年(1701)	2月
139	広石北役行者堂	//	//	役行者前鬼後鬼像	//	68.0 39.7 37.3	//	//
140	虚空蔵庵	兵庫県(淡)一宮町	//	虚空蔵菩薩坐像	//	33.5	//	3月
141	普門寺	兵庫県(洲)五色町	//	弘法大師坐像	//	42 ☆	//	5月
142	長林寺弁天堂	//	//	弁才天坐像	//	27.7	//	6月
143	西光寺	//	//	弘法大師坐像	//	42.3	//	//
144	学文路苺萱堂	和歌山県橋本市	紀伊	千里ノ前坐像	//	52.1	//	9月
145	小苗公民館	兵庫県西脇市黒田荘町	播磨	薬師如来坐像	//	25.3	//	//
146	天徳薬師堂	兵庫県(洲)五色町	淡路	薬師如来立像	//	31.3	//	11月
147	成楽寺	兵庫県(淡)北淡町	//	弘法大師坐像	//	50.6	元禄15年(1702)	7月
148	虚空蔵庵	兵庫県(淡)一宮町	//	薬師如来坐像	//	29.2	//	11月
149	曼荼羅寺	香川県善通寺市	讃岐	金剛界大日如来坐像	造立	102.8	元禄16年(1703)	3月
150	曼荼羅寺	香川県善通寺市	讃岐	胎蔵界大日如来坐像	修理	66.7	//	//
151	真泉寺	兵庫県(淡)北淡町	淡路	地蔵菩薩立像	造立	35.8	//	5月
152	願海寺	兵庫県(南)西淡町	//	胎蔵界大日如来坐像	//	38.2	//	//
153	生福寺	兵庫県(淡)北淡町	//	如意輪観音坐像	修理	32.3	//	//
154	福満寺(北淡)	//	//	如意輪観音坐像	造立	20.3	//	9月
155	瑞宝院	兵庫県(南)南淡町	//	毘沙門天立像	//	39.0	元禄17年(1704)	2月△
156	金剛寺	//	//	弘法大師坐像(彩色後補)	//	46.5	//	3月△
157	宝光寺	兵庫県(南)西淡町	//	弘法大師坐像(背部に3月供養銘)	//	45.6	宝永元年(//)	5月台座銘
158	成楽寺	兵庫県(淡)北淡町	//	不動明王立像	//	59.4	//	9月
159	真泉寺	//	//	不動明王立像	//	59.5	//	//
160	持明寺	兵庫県(洲)五色町	//	胎蔵界大日如来坐像	//	45☆	宝永2年(1705)	9月
161	春日寺薬師堂	兵庫県(南)西淡町	//	薬師如来坐像	修理	13.7	//	//
	//	//	//	日光・月光	造立	40.5	//	//
	//	//	//	十二神将立像	//	約30	//	//
162	万勝寺	兵庫県(南)南淡町	//	金剛界大日如来坐像	//	20.6	//	10月
163	光明寺	奈良県五条市	大和	阿弥陀如来坐像	修理	36.0	宝永3年(1706)	3月
164	光明寺	兵庫県(南)南淡町	淡路	役行者前鬼後鬼像	造立	70.9, 25.5, 26.5	//	6月
165	四天王寺	大阪市天王寺区	摂津	聖徳太子孝養立像	造立	85.2	//	10月
166	瑞祥寺	兵庫県(南)三原町	淡路	弘法大師坐像	//	33.5	宝永4年(1707)	11月△
167	ヤフーオークション出品	不明		地蔵菩薩半跏像	//	不明	宝永5年(1708)	7月
168	長林寺	兵庫県(洲)五色町	淡路	阿弥陀如来立像	//	49.7	宝永6年(1709)	3月
169	来迎寺	大阪府堺市	和泉	弘法大師坐像	//	54.6	//	9月△
170	多聞寺	兵庫県(洲)五色町	淡路	金剛界大日如来坐像	//	25.8	//	11月
171	大日大日堂	//	//	弘法大師坐像	//	46.1	//	//
172	桑間薬師堂	兵庫県洲本市	//	文殊菩薩坐像	//	28.0	//	// △
173	長泉寺	大分県別府市	豊後	円光大師坐像(法然)	//	39.0	//	12月△

174	平木庵観音堂	兵庫県(洲)五色町	淡路	薬師如来坐像	//	32.3	宝永7年(1710)2月
175	明法寺	//	//	弥勒菩薩坐像	//	96.0	// 4月
176	旧慈光寺(片寺安置)	兵庫県(南)西淡町	//	弘法大師坐像	//	47.2	// 9月
177	善通寺	香川県善通寺市	讃岐	愛染明王坐像	//	64.1	// 11月
178	法導寺	兵庫県(淡)東浦町	淡路	金剛界大日如来坐像	//	30.2	正徳元年(1711)10月
179	桑間薬師堂	兵庫県洲本市	//	日光・月光菩薩立像	//	41.0・44.0	// 11月△
180	西福寺	大分県宇佐市	豊前	法然上人坐像・善導上人坐像	//	38.5・38.8	正徳2年(1712)5月△
181	妙雲寺	兵庫県(南)西淡町	淡路	地藏菩薩半跏像	//	30.5(坐高)	// 9月
182	多聞寺	兵庫県(洲)五色町	//	弘法大師坐像	//	28☆	// 11月
183	来迎寺	奈良県平群町	大和	弘法大師坐像	//	43.0	正徳3年(1713)2月
184	西光寺	兵庫県(洲)五色町	淡路	聖観音立像	//	46.6	// 5月
185	大泉寺	兵庫県洲本市	//	阿弥陀如来坐像	修理	(不明)	正徳4年(1714)9月△
186	志知口薬師堂	兵庫県(南)西淡町	//	薬師如来坐像	//	34.7	// //
187	宝林寺	兵庫県洲本市	//	虚空蔵菩薩坐像	造立	正徳5年(1715)1月	
188	桑間薬師堂	兵庫県洲本市	//	普賢菩薩坐像	//	29.0	// 5月△
189	妙観寺	兵庫県(南)南淡町	//	金剛界大日如来坐像	//	33.5	// 9月△
190	万勝寺	//	//	弘法大師坐像	//	43.1	享保元年(1716)9月
191	鳥飼中北御堂	兵庫県(洲)五色町	//	阿弥陀如来坐像(定印)	//	20.4	// 11月
192	淡路国分寺	兵庫県(南)三原町	//	弘法大師坐像	//	43.2	享保2年(1717)3月
193	願海寺	兵庫県(南)西淡町	//	地藏菩薩半跏像	//	35.6(坐高)	// 11月
194	威光寺	兵庫県(南)三原町	//	釈迦如来坐像	//	45.0	// 12月△
195	片寺(西光寺)	兵庫県(南)西淡町	//	弘法大師坐像	//	45.8	享保3年(1718)3月
196	神代寺	兵庫県(南)三原町	//	役行者・理源大師倚像	//	67.5	// 7月△
197	持明寺	兵庫県(洲)五色町	//	地藏菩薩立像	//	49.4	享保4年(1719)9月
198	発生寺	高知県須崎市	土佐	聖観音立像	修理	85.1	享保5年(1720)9月
199	潮音寺	兵庫県(淡)東浦町	淡路	愛染明王坐像	造立	29.9	享保6年(1721)9月
200	春日寺	兵庫県(南)西淡町	//	阿弥陀如来立像	造立	38.7	享保7年(1722)8月
201	寶光寺	兵庫県(南)西淡町	//	十二神将(丑・寅神)	造立	29.0 28.7	// 9月
202	間なし地藏堂	//	//	地藏菩薩半跏像	修理	83.9(坐高)	享保9年(1724)6月
203	薬王寺	兵庫県(洲)五色町	//	弘法大師坐像	造立	42.1	享保13年(1728)4月
204	寶光寺	兵庫県(南)西淡町	//	十二神将(巳神)	造立	28.2	// 7月
205	松林寺	大阪府河内長野市	河内	秀榮□堂像(□=月命)	//	(不明)	享保15年(1730)5月
206	慶積寺	兵庫県川西市	摂津	聖観音立像	修理	100	寛保2年(1742)
207	寶光寺(旧神応寺)	兵庫県(南)西淡町	淡路	阿弥陀如来坐像(三代目)	造立	82.8	宝暦10年(1760)6月

(造立年・修理年未記載)

208	総福寺	大阪府堺市	和泉	不動明王立像(元禄10年以降)	//	67.0(宮内法橋)	造立時期不明△
209	潮音寺	兵庫県(淡)東浦町	淡路	不動明王立像	//	32.4(//)	//
210	普門寺薬師堂	兵庫県(洲)五色町	//	弁才天坐像	//	44(//)	// △☆
211	極楽寺	//	//	十一面観音立像	//	27.8(//)	//
212	米山八坂社地藏堂	//	//	地藏菩薩坐像	//	27.2(//)	//
213	成楽寺	兵庫県(淡)北淡町	//	地藏菩薩立像	//	36.2(//)	//
214	清浄寺	兵庫県(南)三原町	//	不動明王立像	//	35.5(//)	//
215	角川観音寺	兵庫県(洲)五色町	//	十一面観音立像	//	41(//)	// △☆
216	多聞寺	//	//	阿弥陀如来立像	//	61.9(//)	//
217	岩渕寺	兵庫県(南)三原町	//	十一面観音立像	//	43(//)	// △
218	威光寺	//	//	不動明王立像	造立か	65(//)	// △
219	賢光寺庚申堂	//	//	役行者倚像	造立	34.5(//)	// △
220	常楽寺薬師堂	//	//	薬師如来両脇侍像	造立	55.5, 46.5, 47.0(// 草書)	// △
221	感応寺	兵庫県(南)西淡町	//	不動明王立像	//	49.3(//)	//

222	瑞宝院	兵庫県(南)南淡町	//	地藏菩薩立像(台座に銘)	造立	36.3 (//)	//	△
223	万勝寺	兵庫県(南)南淡町	//	阿弥陀如来立像(初代の修理)	修理	48.9(初代)	修理は申年	
224	岡山寺	兵庫県(南)三原町	//	十一面観音立像(初代の修理)	//	91.3 (//)	修理時期不明	
225	上堺釈迦堂	兵庫県(洲)五色町	//	釈迦如来立像	//	96.9 (宮内法橋)	//	
226	本福寺	兵庫県(淡)東浦町	//	薬師如来立像	//	88.7 (//)	//	
227	長福寺	兵庫県(南)三原町	//	阿弥陀三尊像	//	76.5 45.0他 (//)	//	△
228	妙観寺	兵庫県(淡)東浦町	//	二天(持国・多聞)立像	修理	約 100 (//)	天和3年か	
229	法導寺	兵庫県(淡)東浦町	//	地藏菩薩立像	造立	33.4 (法橋宮内)	造立時期不明	
230	白山下薬師堂	//	//	薬師三尊十二神将立像(15軀)	//	33.2 (//)	//	
231	叡福寺	大阪府太子町	河内	矜羯羅・制吒迦童子立像	//	(//)	//	△
232	潮音寺	兵庫県(淡)東浦町	淡路	如意輪観音坐像	//	19.6 (//)	//	
233	宝珠院	大阪市北区	摂津	五大明王立像(5軀)	//	(//)	//	△
234	三野畑阿弥陀堂	兵庫県(洲)五色町	淡路	阿弥陀如来及両脇侍立像	//	59.6 33.8 34.3 (//)	//	
235	栄福寺	兵庫県(南)三原町	[	薬師如来立像	修理	38.8 (//)	修理時期不明	
//				日光月光・十二神将立像(14軀)	造立	25.3・25.7 (//)	造立時期不明	
236	賢光寺	兵庫県(南)三原町	[	不動明王立像	//	44.5 (//)	//	△
//				毘沙門天立像	//	47.0 (//)	//	△
237	威光寺観音堂	//	//	青面金剛脇立二童子	//	32.0 (//)	//	△
238	// //	//	//	不動明王立像	修理	18.0 (//)	修理時期不明	△
239	宝林寺	兵庫県洲本市	//	不動明王坐像	//	12.7 (//)	修理時期不明	
240	成相寺	兵庫県(南)三原町	//	薬師如来立像台座	台座作成		作成時期不明	
241	法幢寺	兵庫県多可町中区	播磨	大愚宗築坐像	造立	95.5	初代 寛文9年ころか	

宮内法橋と推定される作例・修理例〔調査済〕

242	普門寺	兵庫県(洲)五色町	淡路	十王像等(15軀)	造立	51.7	他 延宝7年(1679)8月	
243	宝林寺	兵庫県洲本市	//	不動明王立像	//	56.5	元禄3年(1690)8月	
244	久安寺	大阪府池田市	摂津	行基菩薩坐像	//	57.6	元禄3年(1690)初冬(9月)	
245	普門寺薬師堂	兵庫県(洲)五色町	淡路	薬師如来立像	//	71.2	元禄6年(1693)11月	
246	興久寺	兵庫県(淡)北淡町	//	地藏菩薩立像	//	57.6	造立時期不明	
247	万歳薬師堂	兵庫県(洲)五色町	//	金剛界大日如来坐像	//	27.8	//	
248	平等寺	兵庫県(南)緑町	//	弘法大師坐像	//	45.7	//	
249	平等寺	兵庫県(南)緑町	//	十二神将立像	//	38.0(辰神)	//	
250	宝光寺	兵庫県(南)西淡町	//	弁才天立像(像・台座・厨子銘なし)	//	約30	//	
251	宝林寺	兵庫県洲本市	//	弘法大師坐像(銘文なし)	//	42.1	//	

宮内法橋と推定される作例・修理例〔未調査〕

252	大畑観音堂	兵庫県(淡)北淡町	淡路	千手観音立像 (要再調査)	//	91.1	造立時期未確認	△
253	妙応寺	兵庫県(淡)北淡町	//	阿弥陀三尊像 (要調査)	//		//	△
254	生福寺	兵庫県(淡)北淡町	//	阿弥陀如来坐像 (要調査)	修理		修理時期未確認	△
255	福満寺	兵庫県(淡)北淡町	//	弘法大師坐像 (要調査)	造立		造立時期未確認	△
256	虚空蔵庵	兵庫県(淡)一宮町	//	不動明王立像 (要再調査)	//	36.3	//	
257	虚空蔵庵	兵庫県(淡)一宮町	//	童子立像 (要再調査)	//	35.3	//	
258	尼が寺	兵庫県(南)三原町	//	役行者倚像 (要調査)	//		//	△
259	地藏寺	兵庫県(洲)五色町	//	地藏・毘沙門・不動 (要調査)	//	54 35 35	//	△
260	善光寺	//	//	地藏菩薩立像 (要調査)	//		//	△
261	神代寺	兵庫県(南)三原町	//	地藏菩薩立像 (要調査)	//	34.5	//	△
262	賢光寺	//	//	胎蔵界大日如来坐像 (要調査)	//	50	// 金剛界は別仏師作か	△
263	//	//	//	弘法大師坐像 (要調査)	//	47 (2代)	// (衣-黒色)	△
264	賢光寺横の観音堂	//	//	聖観音坐像 (要調査)	修理か	57.9		△
265	威光寺	//	//	地藏菩薩立像 (要調査)	造立	33.0	//	△

266	延命寺	〃	〃	地藏菩薩半跏像	(要調査)	造立	45.0	〃	△
267	長福寺	〃	〃	薬師如来立像	(要調査)	造立	40	〃	△
268	岩渚寺	〃	〃	釈迦如来坐像か	(要調査)	造立	44.0	〃(漆塗りのまま)	△
269	宝積寺	〃	〃	胎蔵界大日如来坐像	(要調査)	造立	50.0	修理で銘文塗込(享保年間)	△
270	釈迦堂	兵庫県(南)南淡町	〃	釈迦如来立像	(要調査)	造立	95	〃	△
271	声明寺	兵庫県(南)西淡町	〃	聖観音立像	(要調査)	修理		修理時期未確認	△
272	日光寺	兵庫県(南)西淡町	〃	如意輪観音坐像	(要調査)	造立	約100	造立時期未確認	△
273	大谷薬師庵	兵庫県(淡)津名町	〃	金剛界五智如来坐像	(要調査)	造立		造立時期未確認	△
274	中川原阿弥陀堂	兵庫県洲本市	〃	阿弥陀如来立像	(要調査)			造立時期未確認	△
275	光照寺(中川原)	兵庫県洲本市	〃	金剛界大日如来坐像	(要調査)		62	造立時期未確認	△
276	下大日庵	兵庫県(南)南淡町	〃	胎蔵界大日如来坐像	(要調査)	造立	36.5	造立時期未確認	△

(表面の金泥・金箔剥がされる、淡路調査では室町か鎌倉の作とされるが、面相や衣文、光背の宝塔などに宮内法橋の特徴あり。)

◇志知奥釈迦堂 兵庫県(南)西淡町 淡路 阿弥陀如来立像造立 約30 台座裏に「宮内内長二郎」の墨書銘あり 弟子か？

〔註〕

- 「☆」は兵庫県五色町(現 洲本市)教育委員会の調査のデータを使用した。
- 1 常観寺弘法大師像は『引田町史』に掲載されていることを武田和昭氏よりご教示いただき令和5年1月15日に調査。
- 4 十輪寺聖観音坐像は田中恵・齋藤望「和歌山県日高郡の仏教彫刻について」『古代研究25・26』(元興寺文化財研究所)による。また彦根城博物館(当時)齋藤望氏のご教示を得た。
- 5 本護寺宝冠釈迦如来坐像, 171 長泉寺円光大師坐像は、大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館編『宇佐国東の寺院と文化財―宇佐国東地域寺院関係歴史資料調査報告書―』平成2年による。大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館(現 大分県立博物館)渡辺文雄氏のご教示を得た。
- 6 正法寺弘法大師坐像は三木市史調査で確認。(令和4年6月15日)
- 8 末吉家(杭全神社神宮寺)紅顔梨阿弥陀如来坐像は関西大学教授長谷洋一氏よりご教示(令和4年5月19日)但し作風や銘文など要検討。
- 9 「お堂 長崎県壱岐市 像名不詳 寛文5年(1665)8月」は、平成26年10月31日に殿川穂氏からメール問い合わせでの情報による。
- 12 万勝寺阿弥陀如来立像は、修理銘は初代の書体で「坂上宮内法橋」と記される。台座心棒に「□申」年とあるが□の部分は差しこまれて見えず。明暦2年丙申(1656)ならば「小西宮内法橋」と書かれると思われる。また延宝8年庚申(1680)ならば、二代の時期となるので、寛文8年戊申(1668)の事蹟と考えたい。
- 13 竜峰院地藏菩薩坐像は『仏教芸術95』「対馬壱岐の文化財所在地別資料編」による。九州歴史資料館 八尋和泉氏のご教示を得た。
- 14 法幢寺義雲紹真坐像は、平成23年2月15日多可町那珂ふれあい館安平勝利氏よりご教示。大愚坐像も同作風。
- 23 大露大師講弘法大師坐像は、五色町北山学氏のご教示による。(平成13年秋)
- 25 正法寺釈迦如来坐像は、特別展「港町鞆の寺院―その二 臨済宗寺院―」(2001年10月5日)による。
- 26 高野山宝珠院有快僧都像は、昭和32年奈文研による「高野山総合調査」の調書による。(平成20年7月11日文化庁奥健夫氏より)
- 28 観音寺大日如来像は武田和昭氏のご教示による。
- 30 正法寺達磨大師坐像、34 安国寺達磨大師坐像は、特別展「港町鞆の寺院―その二 臨済宗寺院―」(平成13年10月5日)による。
- 36 清浄寺弘法大師坐像は濱岡きみ子氏のご教示により調査をおこなった。
- 38 山向寺阿弥陀如来坐像は大阪経済大学 長田寛康氏のご教示による。
- 41 真観寺弘法大師坐像は、延宝7年二代作、文化14年田中主水康栄修理銘あり。「三原郡調査カード」(令和3年5月12日記す)
- 44 桑間薬師堂の薬師(修理)は、田村正「ふるさと神々と仏たち(洲本編)」による。
- 45 大徳院薬師三尊像については、墨田区教育委員会川本恭子氏のご教示による。(令和3年6月12日)
- 48 末吉家(杭全神社神宮寺)大阪市平野区 阿弥陀如来坐像については長谷洋一氏よりご教示 R4, 5, 19)
- 50 釈迦院愛染明王坐像及び 120松林庵弘法大師坐像は『仏を刻む―近世の祈りと造形―』堺市博物館 平成9年による。
- 51 金剛界大日如来坐像は、平成28年6月にヤフーオークションに出展されたもの(91,000円で落札)
- 61 入田薬師堂薬師如来坐像 は小野晏志氏及び洲本市立淡路文化資料館の浦上氏のご教示により調査をおこなった。
- 62 小川寺弘法大師像は武田和昭氏のご教示による。
- 64 貴船神社村上天明神像は『一宮町史』による。
- 66 弁天島弁天堂弁才天坐像は福岡市美術館 楠井隆志氏のご教示による。
- 68 八浄寺不動明王立像は濱岡きみ子氏のご教示による。
- 69 金龍寺不動明王坐像は『宝塚市史』第7巻(文化遺産編)昭和55年 による。

- 75, 187, 239, 243, 251の 宝林寺諸像は、令和5年(2023)1月15日調査
- 81 庚申堂二天立像は和歌山県立博物館 小田誠太郎氏及び奈良教育大学助教授 山岸公基氏のご教示を得た。
- 93 永徳寺観音院金剛界大日如来坐像は、イギリスよりもたらされた像。インターネットによる検索により判明。
- 94 松林寺弘法大師坐像は、東大阪市佐藤公宣氏のご教示による。(平成18年10月19日)
- 105 久安寺弁財天像は愛知県立芸術大学 山崎隆之氏のご教示による。
- 109 妙観寺十王像9軀(閻魔を除く)は加古川総合文化センター 宮本佳典氏のご教示により、調査をおこなった。
- 115 久安寺増長天・広目天修理は『新修池田市史』第1巻(平成9年)による。(吉原忠雄氏執筆)
- 118 金輪寺薬師如来坐像(修理)、持國天・多聞天立像(修理)は、平成29年1月24日に丸亀市教育部総務課文化財保護室の後藤幸功さんより資料をいただく。薬師は平安中期(10世紀)、持國天・多聞天は平安後期(11世紀)の作。持國天・多聞天の修理銘には年記がないが、銘文の書体から薬師と同時期の仕事と思われる。
- 119 曼荼羅寺八幡神坐像造立、金剛界大日如来坐像像立、胎藏界大日如来坐像修理については、「香川県「四国八十八箇所霊場と遍路道」調査報告書10 四国八十八ヶ所霊場第七十二番札所 曼荼羅寺調査報告書」香川県・香川県教育委員会 平成30年3月 による。
- 122 松林庵弘法大師坐像(元禄11年)・208 総福寺不動明王立像は『堺市美術工芸品調査報告書第二集 上神谷上条・美木多地区美術工芸』堺市教育委員会 平成10年による。
- 144 学文路苺萱堂千里ノ前坐像は『紀ノ川流域の仏像』和歌山県立博物館 昭和56年による。また、学文路苺萱堂管理の岩橋哲也氏及び和歌山県立博物館 小田誠太郎氏のご教示を得た。
- 162 万勝寺金剛界大日如来坐像は『神仏習合をとらえてみた日本人の宗教的世界ー淡路島の調査を中心としてー2』平成2年度 平成3年7月1日刊行 図版に掲載され、調査をおこなった。
- 163 光明寺阿弥陀如来坐像、169 来迎寺弘法大師坐像、208 総福寺不動明王立像・231 叡福寺矜羯羅・制吒迦童子立像(及び5 本護寺宝冠釈迦如来坐像、13 竜峰院地藏菩薩坐像)は堺市博物館(現 関西大学教授)長谷洋一氏のご教示による。
- 165 四天王寺聖徳太子孝養立像は、大阪市立美術館(当時)石川知彦氏のご教示により、平成13年12月9日に同寺宝物館に展示中の像をケース越しに調査する。平成18年5月17日四天王寺勸学部木村展子氏から資料送付される。像・台座裏銘写真。像高は18/5/27。
- 167 地藏菩薩半跏像は、平成21年10月にヤフーオークションに出展された。(100万円で落札)
- 173 長泉寺円光大師像は、八尋和泉氏よりご教示。平成18年1月24日
- 177 善通寺愛染明王坐像は、香川県歴史博物館「空海誕生の地善通寺展」図録(平成18年3月31日)による。
- 183 来迎寺弘法大師坐像は、平成25年10月16日平群町松名嘉治さんよりご教示。
- 185 大泉寺阿弥陀修理は武田和昭氏のご教示による。
- 198 発生寺聖観音立像修理は、京都国立博物館『学叢』8号「昭和59年度修復文化財関係銘文集成」昭和61年による。また京都国立博物館(現 和歌山県立博物館館長)伊東史朗氏のご教示を得た。
- 201 寶光寺の十二神将立像(丑・寅神)は、同寺の宮内法橋文書の年号を確定することができる。また、享保13年7月の同寺十二神将立像(巳神)は、宮内法橋文書の申年7月末には完成する旨の内容により判明する。(平成29年2月14日調査)。
- 202 間なし地藏堂地藏菩薩半跏像修理は『三原郡史』昭和54年による。
- 205 松林寺秀榮□堂像は、元興寺文化財研究所 高橋平明氏のご教示による。(平成13年8月19日)
- 206 川西市慶積寺聖観音立像は、奥健夫氏よりご教示。平成18年2月8日 島田清『川西市の仏像』昭和47年11月3日による。
- 233 宝珠院五大明王立像は大阪経済大学 長田寛康氏のご教示による。
- 240 成相寺薬師台座銘は文化庁奥健夫氏よりご教示。平成17年10月11日
- 244 久安寺行基像は、吹田市立博物館「北摂古寺巡礼」展(平成11年4月)図録に掲載。前束・後束を用いる構造等同館滝沢幸恵氏よりご教示いただいた。
- 洲本市桑間薬師堂の弘法大師坐像(18.0cm)台座裏に「大坂嶋之内柳町／大佛師／法橋宮内作」の墨書銘あり。但し作風は宮内法橋のものとは異なる。書体も異なる。
- 大阪府田尻町の浄土真宗寺院に宮内法橋作の立像(足柄に「宮内法橋」銘があるという)元興寺文化財研究所 高橋平明氏のご教示による。(平成14年3月20日)
- 元禄7年10・11月もしくは元禄9年、妙観寺司録司命像は、無銘だが作風から二代の作と思われる。元禄7年は97閻魔・脱衣婆造立、同9年は、109十王(閻魔を除く)造立している。(令和2年8月12日三原郡調査カードの写真で確認)
- 和歌山西方寺二天像を宮内法橋が修理したとの記事「長谷洋一氏ブ洛克 令和2年12月25日付け」にあり、81庚申堂(和歌山県紀の川市とは別の像か?要確認のこと。(令和3年1月5日 記)
- 鶴林寺(兵庫県加古川市)薬師三尊十二神将立像(15軀)造立 169.5他(この像は延宝6年(1678)霜月、佛師「法橋源心入道作」像内脚部納入棟札による)源心は「玄信」の当て字と考えられる。長谷洋一氏によると、これの造立には宮内法橋が、世話人役として造立に関わっているとのこと。津田三碩が大坂の医者であることから、京仏師へ造仏の斡旋をしているらしいとのこと。

表II

宮内法橋造仏年表

☆は五色町教委の調査「△」は未見、未調査の資料(銘の書体・形式)

〔令和5年(2023)1月15日現在〕

慶長10年(1605)乙巳(1) 初代宮内法橋生まれる 中山寺十六羅漢像の銘文より逆算(寛文9年(1669)に65歳と記す)

寛永14年(1637)丁丑10月	常観寺(香川県東かがわ市)弘法大師坐像造立〔初代33歳〕	〔摂津国大坂住宮内卿〕	(「宮内」は楷書)
寛永15年(1638)戊寅(34)			
寛永16年(1639)己卯(35)			
寛永17年(1640)庚辰(36)			
寛永18年(1641)辛巳(37)			
寛永19年(1642)壬午(38)			
寛永20年(1643)癸未(39)			
正保元年(1644)甲申(40)			
正保2年(1645)乙酉(41)			
正保3年(1646)丙戌(42)			
正保4年(1647)丁亥(43)			
慶安元年(1648)戊子(正保5年)2月	中山寺仁王門(宝塚市)金剛力士像造立(初代44)	〔大坂之住宮内卿〕	(別筆)
慶安2年(1649)己丑(45)			
慶安3年(1650)庚寅7月	宝林寺(兵庫県上郡町)赤松則祐像修理(初代46)	〔宮内法橋宗慶〕	(「宮内」は楷書)
慶安4年(1651)辛卯(47)			
承応元年(1652)壬辰(48)			
承応2年(1653)癸巳(49)			
承応3年(1654)甲午(50)			
明暦元年(1655)乙未(51)			
明暦2年(1656)丙申(52)			
明暦3年(1657)丁酉(53)			
万治元年(1658)戊戌(54)			
万治2年(1659)己亥3月	十輪寺(和歌山県みなべ町)聖観音坐像造立(初代55)	〔小西宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
万治3年(1660)庚子(56)			
寛文元年(1661)辛丑(57)			
寛文2年(1662)壬寅(58)			
寛文3年(1663)癸卯9月	本護寺(大分県国東市)宝冠釈迦如来坐像造立(初代59)	〔宮内卿法橋〕	(「宮内」は草書)
寛文4年(1664)甲辰9月	無量寿院(兵庫県播磨町)阿弥陀如来及び両脇侍像修理(初代60)	〔宮内法橋宗慶〕	(「宮内」は草書)
	6月 正法寺(兵庫県三木市)弘法大師坐像造立(初代60)	〔宮内法橋宗慶〕	(「宮内」は草書)
	12月 末吉家(大阪府平野区)紅顔梨阿弥陀如来坐像造立(初代60)	〔小西法橋宗慶〕	(別筆 要検討)
寛文5年(1665)乙巳8月	お堂(長崎県壱岐市)像名不詳像造立	(初代61)	〔宮内卿法橋宗慶〕(要調査)
	10月 栄福寺(兵庫県(南)三原町)弘法大師坐像造立(初代61)	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
寛文6年(1666)丙午12月	中山寺大師堂(兵庫県宝塚市)弘法大師坐像造立(初代62)	〔宮内法橋宗慶〕	
寛文7年(1667)丁未(63)			
寛文8年(1668)戊申(64)	万勝寺(兵庫県(南)南淡町)阿弥陀如来立像修理(申年)	〔坂上法橋宗慶〕	(「申」の上見えずこの年か)
寛文9年(1669)己酉2月	竜峰院(長崎県壱岐市石田町)釈迦如来坐像造立(初代65)	〔坂上宮内法橋〕	
	6月 大宮寺(兵庫県(南)緑町)弘法大師坐像造立(初代65)	〔坂上宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
	7月 中山寺五百羅漢堂(宝塚市)十六羅漢像造立(2軀)(初代65)	〔宗慶法橋大納言〕	(「宮内」を記さない)
	7月 //	十六羅漢像造立(1軀)(初代65)	〔法橋宗慶大納言〕 //
	7月 //	十六羅漢像造立(2軀)(初代65)	〔法橋宗慶〕 //
寛文10年(1670)庚戌3月	//	十六羅漢像造立(2軀)(初代66)	〔法橋宗慶〕 //
	4月 //	十六羅漢像造立(2軀)(初代66)	〔法橋宗慶〕 //
	5月 //	十六羅漢像造立(2軀)(初代66)	〔法橋宗慶〕 //
	7月 //	十六羅漢像造立(5軀)(初代66)	〔法橋宗慶〕 //

	7月	延長寺(兵庫県(洲)五色町)胎藏界大日如来坐像造立(初代66)〔坂上宮内法橋宗慶〕	(宮は行書・内は草書)
	12月	龍雲寺(兵庫県(洲)五色町)弘法大師坐像造立(初代66)〔坂上宮内法橋宗慶〕	(「宮」は行書「内」は草書)
寛文11年(1671)辛亥	4月	西泉寺(兵庫県(洲)五色町)弘法大師坐像造立(初代67)〔坂上宮内法橋宗慶〕	(「宮」は行書・「内」は草書)
	9月	大宮寺(兵庫県(南)緑町)弘法大師坐像造立(初代67)〔坂上宮内法橋宗慶〕	(「宮内」は楷書)
寛文12年(1672)壬子	9月	感応寺(兵庫県(南)西淡町)弘法大師坐像造立(初代68)〔坂上宮内法橋宗慶〕	(「宮内」は楷書)
寛文13年(1673)癸丑	2月	威光寺(兵庫県(南)三原町)弘法大師坐像造立(初代69)〔坂上宮内法橋宗慶〕	(「宮内」は楷書)
	3月	大露大師講(兵庫県(洲)五色町)弘法大師坐像造立(初代69)〔坂上宮内法橋〕	「宮」は楷書・「内」は草書か
延宝元年(〃)〃	11月	明法寺(兵庫県(洲)五色町)阿弥陀如来立像修理(初代69)〔坂上宮内法橋宗慶〕	「宮」は楷書・「内」は草書
延宝2年(1674)甲寅	1月	正法寺(広島県福山市)釈迦如来坐像造立(初代70)〔坂上宮内法橋宗慶〕	(「宮」は楷書・「内」は草書)
	3月	高野山宝寿院(和歌山県高野町)宥快僧都像造立(初代70)〔坂上宮内法橋宗慶〕	
	9月	観音寺(兵庫県(南)緑町)弘法大師坐像造立〔初代70〕〔坂上宮内法橋宗慶〕	(「宮内」は楷書)
延宝3年(1675)乙卯	11月	か観音寺(兵庫県洲本市池内)金剛界大日如来坐像造立〔宮内法橋宗慶〕	(「宮」は行書・「内」は草書)
		↑↓(初代71/72と二代の合作か)	↑↓〔文字は初代と思われる〕
延宝4年(1676)丙辰	5月	持明寺(兵庫県(洲)五色町)弘法大師坐像造立〔坂上宮内法橋宗慶〕	(「宮」は楷書・「内」は草書)
	9月	正法寺(広島県福山市)達磨大師坐像造立(二代)〔宮内法橋宗慶〕	(「宮内」は楷書)
延宝5年(1677)丁巳	7月	妙観寺(兵庫県(南)南淡町)阿弥陀如来修理〔宮内法橋〕(台座心棒銘)	(「宮内」は草書)
	9月	万歳薬師堂(兵庫県(洲)五色町)薬師三尊像造立(二代)〔宮内法橋宗慶〕	(「宮内」は楷書)
延宝6年(1678)戊午	3月	持明寺護摩堂(兵庫県(洲)五色町)不動三尊立像造立〔宮内法橋宗慶(花押)〕	(「宮内」は楷書)
	5月	安国寺(広島県福山市)達磨大師坐像造立(二代)〔坂上宮内法橋宗慶〕	(「宮内」は楷書)
	6月	感応寺(兵庫県(南)西淡町)金剛界大日如来坐像造立〔宮内法橋宗慶〕	(「宮」は楷書・「内」は行書)
	11月	清浄寺(兵庫県(南)三原町)弘法大師坐像造立〔宮内法橋彫刻〕(台座の「内」のみ草書・「宮内」は楷書)	
	11月	鶴林寺(兵庫県加古川市)新薬師堂の諸仏の造立を京仏師玄信へ斡旋するか?	
延宝7年(1679)己未	2月	西泉寺(兵庫県(洲)五色町)金剛界大日如来坐像造立〔坂上宮内法橋彫刻之〕	(「宮内」は楷書)
	4月	山向寺(和歌山県日高川町)阿弥陀如来坐像造立〔宮内法橋宗慶〕	(「宮内」は楷書)
	8月	明法寺(兵庫県(洲)五色町)金剛界大日如来坐像造立〔宮内法橋〕	(「宮内」は楷書)
	〃	普門寺(兵庫県(洲)五色町)十王像等造立(推定)	(文字は楷書体)
	11月	菅相寺(兵庫県(洲)五色町)弘法大師坐像造立〔宮内法橋宗慶〕	(「宮内」は楷書)
	11月	真観寺(兵庫県(南)南淡町)弘法大師坐像造立〔宮内法橋宗慶〕(眼部後補)	(「宮内」は楷書)
延宝8年(1680)庚申	5月	神本寺(兵庫県(南)三原町)薬師三尊十二神将造立〔宮内法橋彫粧〕	(「宮内」は楷書)
	11月	虚空蔵堂(兵庫県(洲)五色町)虚空蔵菩薩坐像造立〔宮内法橋〕(「宮内」は楷書・心棒の「内」のみ草書)	
	(月不明)	桑間薬師堂(兵庫県洲本市)薬師如来坐像修理(洲本市武田氏の著書による)	確かめる↑
延宝9年(1681)辛酉	6月	大徳院(東京都墨田区 河内叡福寺旧蔵)薬師三尊像修理〔宮内法橋〕(心棒)	(「宮内」は楷書)
天和2年(1682)壬戌	3月	立川瀬阿弥陀堂(兵庫県(南)南淡町)弘法大師坐像造立〔宮内法橋彫造〕	(「宮内」は楷書)
	9月	薬師寺(兵庫県西脇市黒田荘町)四臂十一面観音坐像造立〔宮内法橋〕	(「宮内」は楷書)
	9月	末吉家(大阪府平野区)阿弥陀如来坐像修理〔宮内法橋〕	(「宮内」は楷書)
天和3年(1683)癸亥	1月	岩渕寺(兵庫県(南)三原町)弘法大師坐像造立〔宮内法橋〕	(「宮内」は楷書)
	8月	釈迦院(大阪府池田市)愛染明王坐像造立〔法橋宮内〕	(「宮内」は楷書・座等は草書)
	9月	龍雲寺(兵庫県(洲)五色町)金剛界大日如来坐像造立〔宮内法橋〕	(「宮」は楷書・内は草書)
	〃	極楽寺(兵庫県(洲)五色町)弘法大師坐像造立〔宮内法橋作之〕	(「宮」は楷書・「内」は行書)
	11月	東光寺(兵庫県(洲)五色町)弘法大師坐像造立〔宮内法橋〕	(「宮内」は楷書)
		〔この年 妙観寺(兵庫県(淡)東浦町)二天立像修理か〕〔宮内法橋〕	(「宮内」は楷書)
天和4年(1684)甲子	1月	春日寺(兵庫県(南)西淡町)弘法大師坐像造立〔宮内法橋作之〕	(「宮内」は楷書)
	2月	江国寺(兵庫県洲本市)釈迦如来坐像造立〔坂上宮内法橋〕	(「宮内」は楷書)
貞享元年(〃)〃	6月	安覚寺(兵庫県洲本市)弘法大師坐像造立〔宮内法橋作之〕	(「宮内」は楷書)
	8月	瑞宝院(兵庫県(南)南淡町)千手観音立像造立〔宮内法橋—台座〕	(写真なし)
	(月不明)	安住寺(兵庫県(南)緑町)千手観音立像修理、光背・台座造立〔宮内法橋〕〔心棒〕	(「宮内」は楷書)
	(〃)	安住寺(兵庫県(南)緑町)不動明王立像造立〔宮内法橋〕〔台座〕	(「宮内」は草書)
貞享2年(1685)乙丑	2月	入田薬師堂(兵庫県(南)三原町)薬師如来坐像修理〔宮内法橋〕	(「宮内」は楷書)
	5月	小川寺(兵庫県洲本市)弘法大師坐像造立〔宮内法橋之作・坂上宮内法橋—台座〕	(「宮内」は楷書)
	9月	角川生福寺(兵庫県(洲)五色町)薬師如来坐像造立☆〔宮内法橋〕	
	(月不明)	貴船神社(兵庫県(淡)一宮町)村上大明神像造立〔宮内法橋作之〕	

貞享3年(1686)丙寅	1月	角川地藏庵(兵庫県洲)五色町)地藏・不動・毘沙門天立像造立〔宮内法橋〕	(「宮内」は楷書・毘のみ草書)
	3月	弁天島弁天堂(広島県福山市)弁財天坐像造立	〔宮内法橋〕
	6月	江国寺(兵庫県洲本市)迦葉・阿難尊者立像造立	〔坂上宮内法橋〕 (「宮内」は楷書)
	9月	八淨寺(兵庫県(淡)津名町)不動明王立像造立	〔宮内法橋〕
	11月	金龍寺(兵庫県宝塚市)不動明王坐像造立	〔宮内法橋〕 写真による→ (「宮内」は楷書)
	12月	大通寺(兵庫県西脇市)聖観音坐像造立	〔宮内法橋〕 (「宮内」は楷書)
貞享4年(1687)丁卯	5月	勝福寺(兵庫県(淡)東浦町)弘法大師坐像造立	〔宮内法橋〕 (「宮内」は楷書)
	8月	鍛冶屋観音堂(兵庫県(南)南淡町)弘法大師坐像造立	〔宮内法橋〕 (「宮内」は楷書)
貞享5年(1688)戊辰	1月	安楽寺(兵庫県猪名川町)金剛界大日如来坐像造立	〔宮内法橋〕 (「宮内」は楷書)
	2月	常隆寺(兵庫県(淡)北淡町)弘法大師坐像造立	〔宮内法橋〕 (「宮内」は楷書)
	6月	宝林寺(兵庫県洲本市)十一面観音立像造立	〔宮内法橋〕 (「宮内」は楷書)
	7月	長福寺(兵庫県(南)三原町)弘法大師坐像造立	〔宮内法橋〕 (「宮内」は楷書)
	8月	龍雲寺(兵庫県洲)五色町)薬師如来立像造立	〔宮内法橋〕 (「宮内」は楷書)
元禄元年(〃)〃	11月	栄福寺(兵庫県(南)三原町)金剛界大日如来坐像造立	〔宮内法橋〕 (「宮内」は楷書)
元禄2年(1689)己巳	5月	明法寺(兵庫県洲)五色町)弁才天十五童子像造立	〔宮内法橋〕 (「宮内」は楷書)
元禄3年(1690)庚午	8月	宝林寺(兵庫県洲本市)不動明王立像造立	(仏師の銘文はなく、台座裏に「法印有屋欽造立」銘あり)
	初冬(10月)	久安寺(大阪府池田市)行基菩薩坐像造立(推定)(仏師の銘文はなし)	
	11月	極楽寺(兵庫県洲)五色町)阿弥陀(無量寿)如来立像造立(像は後補)〔宮内法橋〕	厨子 (「宮内」は楷書)
元禄4年(1691)辛未	5月	庚申堂(和歌山県紀の川市)二天立像修理	〔宮内法橋一 台座〕 (「宮」は行書・「内」は草書)
	9月	神代寺(兵庫県(南)三原町)弘法大師坐像造立	〔宮内法橋〕 (「宮内」は楷書)
	9月	高萩薬師堂(兵庫県(南)南淡町)薬師如来坐像修理	〔宮内法橋一 台座〕 (「宮内」は楷書)
元禄5年(1692)壬申	1月	安住寺(兵庫県(南)緑町)胎蔵界大日如来坐像造立	〔宮内法橋〕 (「宮内」は楷書)
	5月	角川地藏庵(兵庫県洲)五色町)金剛界大日如来坐像造立〔宮内法橋〕	「宮内」は楷書・心棒「宮内」は草書
	9月	角川観音寺(兵庫県洲)五色町)金剛界大日如来坐像造立☆〔宮内法橋〕	
	11月	白山上薬師堂(兵庫県(淡)東浦町)薬師修理、日光・月光菩薩立像造立〔宮内法橋〕	(「宮内」は楷書)
元禄6年(1693)癸酉	1月	瑞宝院(兵庫県(南)南淡町)閻魔・十王(現存6軀)坐像造立〔宮内法橋一閻魔台座〕	(「宮内」は楷書)
	2月	〃 (〃)弘法大師坐像造立	〔宮内法橋〕 (「宮内」は楷書)
	3月	広石北観音堂(兵庫県洲)五色町)如意輪観音坐像造立〔宮内法橋〕	(「宮内」は楷書)
	〃	広石北観音堂(兵庫県洲)五色町)不動明王立像・毘沙門天立像造立〔宮内法橋〕	(不動は行・草、毘は楷書)
	11月	勝福寺(兵庫県(淡)東浦町)虚空蔵菩薩坐像造立	〔宮内法橋〕 (「宮内」は楷書)
	〃	普門寺(兵庫県洲)五色町)薬師如来立像造立(推定)	
	月不詳	永徳寺観音院(広島市)金剛界大日如来坐像造立	〔銘文不詳 要調査〕
	月不詳	松林寺(河内長野市)弘法大師坐像造立	〔銘文不詳 要調査〕
元禄7年(1694)甲戌	5月	中山寺(兵庫県宝塚市)阿弥陀如来坐像修理	〔宮内法橋〕
	9月	虚空蔵庵(兵庫県(淡)一宮町)金剛界大日如来坐像造立〔宮内法橋〕	(「宮内」は楷書)
	10月	妙観寺(兵庫県(南)南淡町)閻魔王坐像造立	〔大坂本町五丁目 坂上宮内法橋〕 (「宮内」は楷書)
	11月	〃 (〃) 奪衣婆坐像造立	〔大坂本町五丁目 坂上宮内法橋〕 (「宮内」は楷書)
元禄8年(1695)乙亥	3月	願海寺(兵庫県(南)西淡町)金剛界大日如来坐像造立	〔宮内法橋〕※ (「宮内」は草書)
	5月	大日大日堂(兵庫県洲)五色町)阿弥陀如来立像造立	〔宮内法橋〕心棒「宮内」は草書・厨子「宮内」は楷書
	7月	鮎原西毘沙門堂(兵庫県洲)五色町)金剛大日如来坐像造立〔宮内法橋〕	(「宮内」は楷書)
	〃	延命寺(兵庫県(南)三原町)弘法大師坐像造立	〔宮内法橋〕 (「宮内」は楷書)
金剛界	8月	普門寺(兵庫県洲)五色町)大日如来坐像造立〔宮内法橋〕	(「宮」は楷書・「内」は草書)台座の宮内は楷書
	9月	覚王寺(兵庫県(淡)津名町)愛染明王坐像造立	〔宮内法橋〕 (「宮内」は楷書)
	11月	江国寺(兵庫県洲本市)文殊菩薩半跏像造立	〔宮内法橋〕 (「宮内」は楷書)
	〃	久安寺(大阪府池田市)弁才天坐像修理	〔宮内法橋一 台座〕 (「宮」は楷書・「内」は草書)
元禄9年(1696)丙子	5月	角川地藏庵(兵庫県洲)五色町)弘法大師坐像造立	〔宮内法橋〕 (「宮」は楷書・「内」は草書)
	〃	虚空蔵庵(兵庫県(淡)一宮町)如意輪観音像修理	〔宮内法橋一 台座〕 (「宮内」は草書)
	7月	虚空蔵庵(兵庫県(淡)一宮町)弘法大師坐像造立	〔宮内法橋〕 (「宮」は楷書・「内」は草書)
	〃	妙観寺(兵庫県(南)南淡町)十王像9軀造立(閻魔王を除く)〔坂上宮内法橋〕	(「宮内」は楷書)
	9月	岩渚寺(兵庫県(南)三原町)胎蔵界大日如来坐像造立	〔宮内法橋〕 (「宮」は楷書・「内」は草書)
(像は前年3月)	〃	願海寺(兵庫県(南)西淡町)金剛界大日如来坐像厨子造立〔宮内法橋一厨子〕	※ (「宮」は楷書「内」は草書)

	12月	真観寺(兵庫県(南)南淡町)金剛界大日如来坐像造立	〔宮内法橋〕	(「宮」は楷書・「内」は草書)
元禄10年(1697)丁丑	1月	安住寺(兵庫県(南)緑町)薬師如来坐像修理	〔坂上宮内法橋〕	(「宮」は楷書・「内」は草書)
	2月	上堺釈迦堂(兵庫県(洲)五色町)弘法大師坐像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は楷書・台座は草書・厨子は楷・草)
	〃	大宮寺(兵庫県(南)緑町)金剛界大日如来坐像造立	〔宮内法橋〕	「宮内」は草書・台座「宮」楷書・「内」草書
	〃	久安寺(大阪府池田市)増長天・広目天立像修理	〔宮内法橋〕	(銘文未見)
	5月	威光寺(兵庫県(南)三原町)胎蔵界大日如来坐像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
	〃	威光寺(兵庫県(南)三原町)阿弥陀如来坐像(来迎印)造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
	(月不明)	本福寺(兵庫県(淡)東浦町)虚空蔵菩薩坐像造立	〔像一宮内法橋・台座一法橋宮内〕	(宮は楷書・内は草書)
『日本国花萬葉記』巻6之2『摂州名所難波丸』「大坂名匠諸職商人並諸問屋」「仏師」の項に「本丁五丁目 法橋宮内」とあり				
元禄11年(1698)戊寅	7月	長林寺(兵庫県(洲)五色町)金剛界大日如来坐像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書一 台座の「宮」のみ楷書)
	〃	〃 〃 不動明王坐像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
	〃	〃 〃 愛染明王坐像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書一 台座の「宮」のみ楷書)
	11月	松林庵(大阪府堺市)弘法大師坐像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
元禄12年(1699)己卯	1月	福満寺(兵庫県(淡)一宮町)弘法大師坐像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
	3月	淡路国分寺(兵庫県(南)三原町)虚空蔵菩薩立像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
	〃	広石北観音堂(兵庫県(洲)五色町)薬師如来立像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
	〃	塔下大御堂(兵庫県(洲)五色町)阿弥陀如来坐像修理☆	〔宮内法橋〕	
	4月	賢光寺庚申堂(兵庫県(南)三原町)青面金剛立像造立△	〔宮内法橋一 台座〕	(「宮内」は草書)
	5月	塔下大御堂(兵庫県(洲)五色町)不動明王・毘沙門天立像修理☆	〔宮内法橋〕	
	〃	広石下大日庵(兵庫県(洲)五色町)金剛界大日如来坐像造立☆	〔宮内法橋〕	
	7月	金剛寺(兵庫県(南)三原町)弘法大師坐像造立	△〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
	8月	安楽寺(兵庫県(南)三原町)十一面観音立像造立△	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
	〃	安楽寺(兵庫県(南)三原町)愛染明王(厨子のみ)	〔宮内法橋〕	(厨子銘「宮内」は草書)
	9月	菅相寺(兵庫県(洲)五色町)阿弥陀如来坐像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
元禄13年(1700)庚辰	5月	光明寺(兵庫県(南)南淡町)阿弥陀如来立像修理・両脇侍造立	〔宮内法橋〕	台座心棒 (「宮内」は草書)
	7月	慈音寺(兵庫県(南)三原町)金剛界大日如来坐像造立△	〔宮内法橋〕	
	〃	薬王寺(兵庫県(洲)五色町)薬師如来坐像修理	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
	8月	妙雲寺(兵庫県(南)西淡町)弘法大師坐像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
元禄14年(1701)辛巳	2月	堺寺(兵庫県(洲)五色町)千手観音立像造立(寺記)	〔宮内法橋〕	
	〃	広石北役行者堂(兵庫県(洲)五色町)役行者前鬼後鬼像造立	〔坂上宮内法橋〕	「宮内」は楷書・台座脇侍は草書
	3月	虚空蔵庵(兵庫県(淡)一宮町)虚空蔵菩薩坐像造立	〔宮内法橋一 台座〕	(「宮内」は草書)
	5月	普門寺(兵庫県(洲)五色町)弘法大師坐像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
	6月	長林寺弁天堂(兵庫県(洲)五色町)弁財天坐像造立	〔宮内法橋一 台座〕	(「宮内」は草書)
	〃	西光寺(兵庫県(洲)五色町)弘法大師坐像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
	9月	学文路苺萱堂(和歌山県橋本市)千里ノ前坐像造立	〔坂上宮内卿法橋宗慶〕	(銘は別筆「宮内」は楷書)
	〃	小苗公民館(旧就泉寺)(兵庫県黒田荘町)薬師如来坐像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
	11月	天徳薬師堂(兵庫県(洲)五色町)薬師如来立像造立	〔銘文なし〕	
元禄15年(1702)壬午	7月	成楽寺(兵庫県(淡)北淡町)弘法大師坐像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
	11月	虚空蔵庵(兵庫県(淡)一宮町)薬師如来坐像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
元禄16年(1703)癸未	5月	真泉寺(兵庫県(淡)北淡町)地藏菩薩立像造立	〔宮内法橋一 厨子〕	(「宮内」は草書)
	〃	願海寺(兵庫県(南)西淡町)胎蔵界大日如来造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
	〃	生福寺(兵庫県(淡)北淡町)如意輪観音坐像修理	〔宮内法橋一 台座〕	(「宮内」は草書)
	9月	福満寺(兵庫県(淡)北淡町)如意輪観音坐像造立	〔宮内法橋一 台座・厨子〕	(「宮内」は草書)
元禄17年(1704)甲申	2月	瑞宝院(兵庫県(南)南淡町)毘沙門天立像造立	〔宮内法橋一 台座〕	(「宮内」は草書)
	3月	金剛寺(兵庫県(南)南淡町)弘法大師坐像造立	〔宮内法橋〕	(彩色後補) (「宮内」は草書)
宝永元年(〃)〃	5月	寶光寺(兵庫県(南)西淡町)弘法大師坐像造立	〔宮内法橋一 台座〕	(「宮内」は草書)
	9月	成楽寺(兵庫県(淡)北淡町)不動明王立像造立	〔宮内法橋一 台座・法橋宮内一 厨子〕	(「宮内」は草書)
	〃	真泉寺(兵庫県(淡)北淡町)不動明王立像造立	〔宮内法橋一 台座・法橋宮内一 厨子〕	(「宮内」は草書)
宝永2年(1705)乙酉	9月	持明寺(兵庫県(洲)五色町)胎蔵界大日如来坐像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
	〃	春日寺薬師堂(兵庫県(南)西淡町)薬師如来坐像修理	〔宮内法橋一 厨子〕	(両脇侍造立) (「宮内」は草書)
	10月	万勝寺(兵庫県(南)南淡町)金剛界大日如来坐像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)

宝永3年(1706)丙戌3月	光明寺(奈良県五条市)阿弥陀如来坐像修理	〔宮内法橋〕	(「宮内」は楷書)
6月	光明寺(兵庫県(南)南淡町)役行者前鬼後鬼像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は楷書―台座も楷書)
10月	四天王寺(大阪市天王寺区)聖徳太子孝養立像造立	〔宮内法橋宗慶―台座裏〕	(「宮内」は楷書)
宝永4年(1707)丁亥11月	瑞祥寺(兵庫県(南)三原町)弘法大師坐像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
宝永5年(1708)戊子7月	ヤフーオークション出品地藏菩薩半跏像	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
宝永6年(1709)己丑3月	長林寺(兵庫県(洲)五色町)阿弥陀如来立像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
9月	来迎寺(大阪府堺市)弘法大師坐像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
11月	多聞寺(兵庫県(洲)五色町)金剛界大日如来坐像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
〃	大日大日堂(兵庫県(洲)五色町)弘法大師坐像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
〃	桑間薬師堂(兵庫県洲本市)文殊菩薩坐像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
12月	長泉寺(大分県別府市)円光大師坐像造立(法然)	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
宝永7年(1710)庚寅2月	平木庵(兵庫県(洲)五色町)薬師如来坐像造立	〔像―法橋宮内、台・厨―宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
4月	明法寺(兵庫県(洲)五色町)弥勒菩薩像修理	〔法橋宗慶―像内・宮内法橋―台座〕	(「宮内」は草書)
9月	慈光寺(兵庫県(南)西淡町)弘法大師坐像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
11月	善通寺(香川県善通寺市)愛染明王坐像造立	〔法橋宮内〕	(「宮内」は楷書)
正徳元年(1711)辛卯10月	法導寺(兵庫県(淡)東浦町)金剛界大日如来坐像造立	〔法橋宮内〕	(「宮内」は草書)
〃 11月	桑間薬師堂(兵庫県洲本市)日光菩薩立像造立	〔法橋宮内―足ホゾ・台座〕	(「宮内」は草書)
	月光菩薩立像造立	〔法橋宮内―足ホゾ・台座〕	(「宮内」は草書)
			(↑台座の「宮」のみ楷書)
正徳2年(1712)壬辰5月	西福寺(大分県宇佐市)法然・善導上人坐像造立	〔法橋宮内〕	
9月	妙雲寺(兵庫県(南)西淡町)地藏菩薩半跏像造立	〔台座―宮内法橋―草書・厨子裏―法橋宮内―楷書〕	
11月	多聞寺(兵庫県(洲)五色町)弘法大師坐像造立(底板張)	〔宮内法橋〕	(「宮内」は楷書・台座は草書)
正徳3年(1713)癸巳5月	西光寺(兵庫県(洲)五色町)聖観音立像造立	〔宮内法橋〕	(「宮内」は草書)
正徳4年(1714)甲午9月	大泉寺(兵庫県洲本市)阿弥陀如来坐像修理	〔法橋宮内―台座〕	(「宮内」は楷書)
〃	志知口薬師堂(兵庫県(南)西淡町)薬師如来坐像修理	〔法橋宮内―台座〕	(「宮内」は草書)
正徳5年(1715)乙未1月	宝林寺(兵庫県洲本市)虚空蔵菩薩坐像造立	〔法橋宮内〕	(「宮内」は草書)
5月	桑間薬師堂(兵庫県洲本市)普賢菩薩坐像造立	〔法橋宮内〕	(「宮内」は草書)
9月	妙観寺(兵庫県(南)南淡町)金剛界大日如来坐像造立	〔法橋宮内〕	(「宮内」は楷書)
享保元年(1716)丙申9月	万勝寺(兵庫県(南)南淡町)弘法大師坐像造立	〔像―法橋宮内―宮内は楷書〕	〔台座―宮内法橋―宮内は草書〕
11月	鳥飼中北御堂(兵庫県(洲)五色町)阿弥陀如来立像造立	〔法橋宮内〕	(「宮内」は草書)
享保2年(1717)丁酉3月	淡路国分寺(兵庫県(南)三原町)弘法大師坐像造立	像・厨子〔法橋宮内〕	台座〔宮内法橋〕
11月	願海寺(兵庫県(南)西淡町)地藏菩薩半跏像造立	〔法橋宮内―台座〕	(「宮内」は草書)
12月	威光寺(兵庫県(南)三原町)釈迦如来坐像造立	〔法橋宮内〕	(「宮」は楷書・「内」は草書)
享保3年(1718)戊戌3月	西光寺(兵庫県(南)西淡町)弘法大師坐像造立	〔法橋宮内〕	(「宮内」は草書)
7月	神代寺(兵庫県(南)三原町)役行者・理源大師倚像造立	〔法橋宮内〕	(「宮内」は草書)
享保4年(1719)己亥9月	持明寺(兵庫県(洲)五色町)地藏菩薩立像	足ホゾ〔法橋宮内〕	台座〔宮内法橋〕
享保5年(1720)庚子9月	発生寺(高知県須崎市)聖観音立像修理・台座造立	〔法橋宮内〕	(心棒―宮内は楷書 台座―宮内は草書)
享保6年(1721)辛丑9月	潮音寺(兵庫県東浦町)愛染明王坐像造立	〔法橋宮内〕	(「宮」は楷書・「内」は草書)
享保7年(1722)壬寅8月	春日寺(兵庫県(南)西淡町)阿弥陀如来立像造立	〔法橋宮内―台座〕	(「宮内」は草書)
享保8年(1723)癸卯			
享保9年(1724)甲辰6月	間なし地藏堂(兵庫県(南)西淡町)地藏菩薩半跏像修理	〔法橋宮内―台座〕	(「宮内」は楷書)
享保10年(1725)乙巳			
享保11年(1726)丙午			
享保12年(1727)丁未			
享保13年(1728)戊申4月	薬王寺(兵庫県(洲)五色町)弘法大師坐像造立	〔法橋宮内〕	(「宮内」は草書)
享保14年(1729)己酉			
享保15年(1730)庚戌5月	松林寺(大阪府河内長野市)秀榮□堂像(底面板状)	〔法橋宮内〕	(「宮」は楷書・「内」は草書)
享保年間という	宝積寺(兵庫県(南)三原町)胎藏界大日如来坐像(修理により像内銘塗り込め)		

寛保2年(1742) 慶積寺(兵庫県川西市)聖観音立像修理〔法橋宮内〕 2・3代か書体も不明『川西市の仏像』昭和47年島田清著
延享5年(1748)戊辰 『改正増補難波丸綱目』延享5年刊 第14冊「諸職名工之部」の「仏師」の項「本町五丁メ 大仏師」とあり。

(寛延元年)

寛延2年(1749)己巳

寛延3年(1750)庚午 『改正増補難波丸綱目』寛延版には「本町五丁メ 大仏師」削除

宝暦10年(1760)庚辰6月 寶光寺(兵庫県(南)西淡町)阿弥陀如来坐像造立〔法橋宮内〕(3代か—自称7代)(「宮内」は楷書)

時期不明の作例・修理例

(初代) 寛文□年□月 中山寺五百羅漢堂(宝塚市)宝冠釈迦如来坐像造立は〔宗慶法橋大(か)〕の銘があり、寛文9年の可能性もある。同堂の五百羅漢像—寛文9年4月作の3軀に「大納言」を記す例がある。

(初代) 申年 万勝寺(兵庫県(南)南淡町)阿弥陀如来立像修理・台座造立〔坂上法橋宗慶〕

(初代) 岡山寺(兵庫県(南)三原町)十一面観音立像修理・台座造立〔坂上宮内法橋〕(「宮」は楷書「内」は草書)

(2代)「宮内法橋」銘 米山八坂社地藏堂(兵庫県(洲)五色町)地藏菩薩坐像造立(「宮内」は楷書)

成楽寺(兵庫県(淡)北淡町)地藏菩薩立像造立(「宮内」は楷書)

神本寺(兵庫県(南)三原町)阿弥陀三尊像修理 勢至台座〔宮内法橋〕(「宮」は楷書「内」は草書)

総福寺(大阪府堺市)不動明王立像造立(「宮内」は草書)

潮音寺(兵庫県(淡)東浦町)不動明王立像造立(「宮内」は草書)

宝珠院(大阪市北区)五大明王立像修理

清浄寺(兵庫県(南)三原町)不動明王立像造立(「宮内」は草書)〔台座〕

栄福寺(兵庫県(南)三原町)薬師如来立像修理・両脇侍十二神将造立

〔中尊台座心棒—宮内法橋、脇侍台座—法橋宮内〕(「宮内」は草書)

多聞寺(兵庫県(洲)五色町)阿弥陀如来立像造立(「宮内」は草書)台座裏

普門寺薬師堂(兵庫県(洲)五色町)弁財天坐像造立☆

極楽寺(兵庫県(洲)五色町)十一面観音立像造立(「宮内」は草書)台座裏

角川観音堂(兵庫県(洲)五色町)十一面観音立像造立☆

威光寺(兵庫県(南)三原町)不動明王立像造立か(「宮内」は草書)台座裏

上堺釈迦堂(兵庫県(洲)五色町)釈迦如来立像修理(「宮」は行書・「内」は草書)台座

本福寺(兵庫県東浦町)薬師如来立像修理(「宮内」は草書)

岩淵寺(兵庫県(南)三原町)十一面観音立像造立〔宮内法橋〕(「宮内」は草書)

賢光寺庚申堂(兵庫県(南)三原町)役行者倚像造立〔宮内法橋〕台座(「宮内」は草書)

瑞宝院(兵庫県(南)南淡町)地藏菩薩立像造立

(2代)「法橋宮内」銘 法導寺(兵庫県(淡)東浦町)地藏菩薩立像造立(「宮内」は草書)

白山下薬師堂(兵庫県東浦町)薬師三尊十二神将立像造立(「宮内」は草書)脇侍の台座

叡福寺(大阪府太子町)矜羯羅・制吒迦童子立像造立

潮音寺(兵庫県(淡)東浦町)如意輪観音坐像造立(「宮内」は草書)

三野畑阿弥陀堂(兵庫県(洲)五色町)阿弥陀三尊像造立(「宮内」は草書)

威光寺(兵庫県(南)三原町)庚申脇立童子(2軀)造立(「宮内」は草書)

威光寺(兵庫県(南)三原町)不動明王立像修理(「宮内」は草書)

宝林寺(兵庫県洲本市)不動明王坐像修理(「宮内」は草書)

興久寺(兵庫県(淡)北淡町)地藏菩薩立像造立〔推定〕 銘文なし・作風から推定)初代か二代か不明

成相寺(兵庫県(南)三原町)薬師如来立像の台座作成(年月不詳)

表Ⅲ

神出仏師作例・修理例年表

令和 4 年 (2022)12 月 27 日現在

「民部」の肩書きは父、「太郎兵衛・保省・知栄」は子を表す

No.	年代	像名	内容	構造	像高 (cm)	寺院名	所在地	仏師名の表記
1	寛永 11 年(1634)9 月	薬師如来立像	造立	寄木	59.4	春岡寺	加西市	広澤民部家次
2-1	寛永 15 年(1638)3 月	観音菩薩立像	台座修理		57.5	酒見寺引聲堂	加西市	広澤民部
-2	// 4 月 27 日	同像 光背修理						広澤民部卿
-3	// 4 月 27 日	勢至菩薩像 光背修理			60.6			広澤民部□次
3	// 4 月 26 日	薬師如来坐像	修理		90.5	羅漢寺	加西市	民部
4	寛永 19 年(1642)閏 9 月	薬師如来立像	造立	一木	90.2	牧野薬師堂	加東市(社町)	厚木民部家次
5	慶安 4 年(1651) 3 月	本地仏・隨身等造立記録あり				徳畑天神社	多可町中区	明石郡神邊村厚木民部
6	慶安 4 年(1651)10 月	十一面観音立像	造立	寄木		満願寺	姫路市夢前町	厚木民部正次
7	慶安 5 年(1652) 4 月	十一面観音立像	造立	一木	43.3	大日寺	加西市	厚木民部正次
8	明暦元年(1655)12 月	不動明王坐像	造立	寄木	48.0	金剛寺	三木市	厚木民部吉次
9	万治元年(1658)12 月	薬師如来立像	造立	寄木	94.0	東光寺	加西市	作風から厚木民部と判断
10-1	万治 2 年(1659)12 月	薬師如来坐像	造立	一木か	120.1	谷口薬師堂	加西市	厚木民部卿吉次
-2		持国天立像	造立	一木	86.5			
-3		多聞天立像	造立	一木	89.2			
11	寛文 3 年(1663) 5 月	酒見寺多宝塔	彩色			酒見寺多宝塔	加西市	厚木民部同子息
12-1	寛文 4 年(1663) 2 月	十一面観音立像	造立	寄木	111.0	鎌倉寺	加西市	厚木民部少治之(台座)
								厚木民部少治之同子息太郎兵衛(光背)
-2	//	難陀竜王立像	造立	一木	68.2			
-3	//	雨宝童子立像	造立	一木	64.6			
13	寛文 5 年(1665) 9 月	十一面観音立像	修理		141.8	酒見寺本堂	加西市	厚木民部卿同太郎兵衛
14	寛文 5 年(1665)11 月	不動明王立像	修理		79.8	酒見寺護摩堂	加西市	厚木民部
15	寛文 8 年(1669) 1 月	不動明王立像	造立		58.5	性海寺福智院	神戸市西区	厚木民部治之
16	寛文 8 年(1668)12 月	鬼面 2 面(赤・青)	造立		31.8・30.0	性海寺	神戸市西区	厚木民部
17	寛文 9 年(1669) 7 月	聖観音立像	造立	一木	54.8	大通寺	西脇市	民部／太郎兵へ(衛)
18	寛文 9 年(1669)	男神坐像	造立	寄木	27.0	中野間八幡神社	多可町八千代区	厚木太郎兵衛保省作之
19	寛文 11 年(1671)3 月	隨身倚像一対	造立	寄木		一宮神社	福崎町	藤原朝臣厚木民部卿治之
								小工太良兵衛保省
20	寛文 11 年(1671)	千手観音立像	造立			横倉観音堂	市川町	厚木民部治之・太郎兵衛保省
21	寛文 12 年(1672)5-6 月	地藏菩薩坐像	造立	寄木	35.0	豊部十王堂	多可町加美区	藤原朝臣厚木太良兵衛保省
	6 月	閻魔王坐像	造立	寄木	35.5			厚木保省生年廿七才 等
	//	十王坐像(10 軀)	造立	寄木	26.0 他			
	//	奪衣婆坐像	造立	一木	23.5			
	//	獄卒立像	造立	一木	赤 35.3 青 35.4			
	//	浄玻璃鏡	造立	現高	53.5			
	//	業秤	造立	高	34.1			
	//	菩薩形頭部	造立	現高	11.4			
22-1	寛文 12 年(1672)8 月	十二神将立像(12 軀)	造立	寄木	85.5 他	神積寺	福崎町	藤原朝臣厚木民部治之
	～寛文 13 年(1673)3 月							
-2	寛文 13 年(1673)	日光・月光菩薩立像	造立	寄木	97.0 他	神積寺	福崎町	作風から厚木民部作と判断
23	延宝元年(1673)11 月	金剛力士立像	造立		1 丈 1 尺	石峯寺	神戸市北区	右京厚木民部口治之行年五十九歳
24	延宝 2 年(1674) 4 月	千手観音立像(前立)	造立			西仙寺	西脇市	厚木太良兵衛保省(台座裏銘)
	7 月(夷則)	//				西仙寺	西脇市	厚木太良保省(光背銘)
25	延宝 2 年(1674) 7 月	西国三十三所観音像(33 軀)	造立			圓福寺(古川観音堂)	小野市	民部(17 番像台座裏銘)
	～ 同 3 年(1675) 8 月	(紀三井寺十一面立像	26.4	岡寺如意輪坐像	18.6)			
26	延宝 4 年(1676)11 月	薬師如来坐像	再興			妙覚寺	西脇市	藤原朝臣厚木太良兵衛保省
27	延宝 6 年(1678)3 月	千手観音立像(前立)	修理			西仙寺	西脇市	厚来太郎鉄一 保尚 保省
28	延宝 6 年(1678)	不動明王立像	造立			西光寺	神戸市西区	藤原朝臣厚木民部治之

29	元禄 7 年(1694)か	如意輪観音坐像	造立	割矧	49.1	清水寺	神戸市西区	藤原之朝臣厚木知榮
30	元禄 7 年(1694)	鬼面				近江寺	神戸市西区	厚木知榮
31-1	元禄 10 年(1697) 9 月	聖観音像	修理(焼失)			富吉南観音堂	西脇市	厚木太郎兵衛智榮
-2		多聞天立像	修理(焼失)	・ 持国天立像		修理(焼失)		
32	年不明	不動明王立像	造立	寄木	63.1	西光寺	多可町加美区	保省
33	年不明	金剛力士立像	造立	寄木	295(阿形)	性海寺	神戸市西区	神出仏師ノ作(『播磨鑑』)
34	年不明	薬師如来坐像	造立	一木	33.3	和田薬師堂	神戸市西区	作風から厚木民部作と判断
35	年不明	薬師如来坐像	造立	一木	40.2	山上公民館	三木市吉川町	作風から厚木民部作
						(旧持徳寺観音堂)		

(註)

8 三木市金剛寺不動明王坐像は、令和 4 年 7 月 13 日調査。

23 石峯寺 金剛力士の銘文は、神戸市博の報告書にある。

石峯寺の「微考録」の延宝元年 11 月の造立記録は、前田徹氏のご教示による(令和 3 年 8 月 27 日)

24 西仙寺 延宝 2、6 年 銘は、『西仙寺本堂建造物調査報告書』令和 3 年(2021)9 月 9 日による

25 小野市古川町圓福寺(古川観音堂)は、令和 4 年 9 月 10 日調査。

35 山上公民館 薬師は令和 4 年 7 月 6 日調査、銘文なし、作風から厚木民部作と判定。

執筆者紹介（掲載順）

山口 奈々絵（当館学芸員）

吉原 大志（当館学芸員・主任）

竹内 信（当館学芸員）

鈴木 敬二（当館学芸員・館長補佐兼事業企画課長）

前田 和彦（当館指導主事）

香川 雅信（当館学芸員・学芸課長兼県立美術館課長）

神戸 佳文（当館学芸員・社会教育推進専門員）

兵庫県立歴史博物館紀要
塵界 第三四号

編集 兵庫県立歴史博物館
印刷 合名会社 柳生印刷所
発行 令和五年三月二十七日

Printed in Japan©2023

04 教①1-017 A4

〈訂正〉

『塵界』第33号

75（38）頁

（誤）No.1039 金の船 第4巻第6号（6月号）

（正）No.1039 金の星 第4巻第6号（6月号）

91（22）頁 『金の船』解説 7～8行目

（誤）新たに金の船社を主宰するにあたって『金の星』と誌名を変更、

（正）新たに金の船社を主宰し、『金の星』と題する別雑誌を発刊する（巻号は『金の船』を踏襲）。

※キンノツノ社からはその後も『金の船』の発行は継続されており（のちに発行者は越山堂を経て、資文堂書店へと変わる）、二誌が併存する期間が続いていた。